

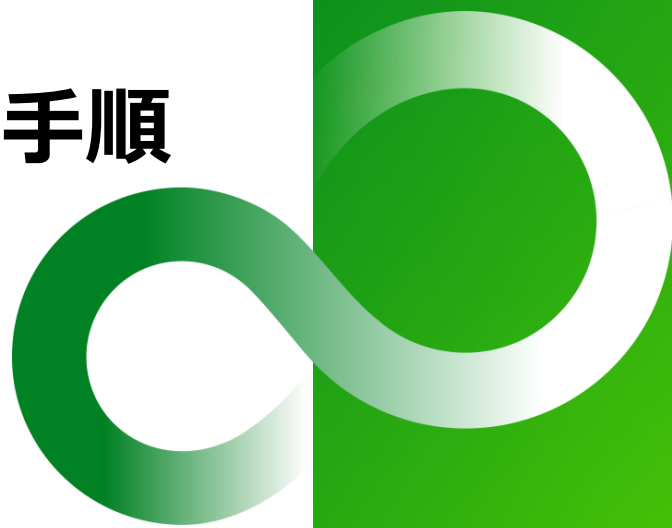
# PRIMEQUEST 4000シリーズ ファームウェアアップデート手順書

4版

2024年4月

富士通株式会社

1. はじめに
2. 事前準備
3. ファームウェアアップデート手順
4. 事後作業



## 1-1. 統合ファームウェアファイル

PRIMEQUEST 4000シリーズのファームウェアを更新する場合、統合ファームウェアファイルを使用します。

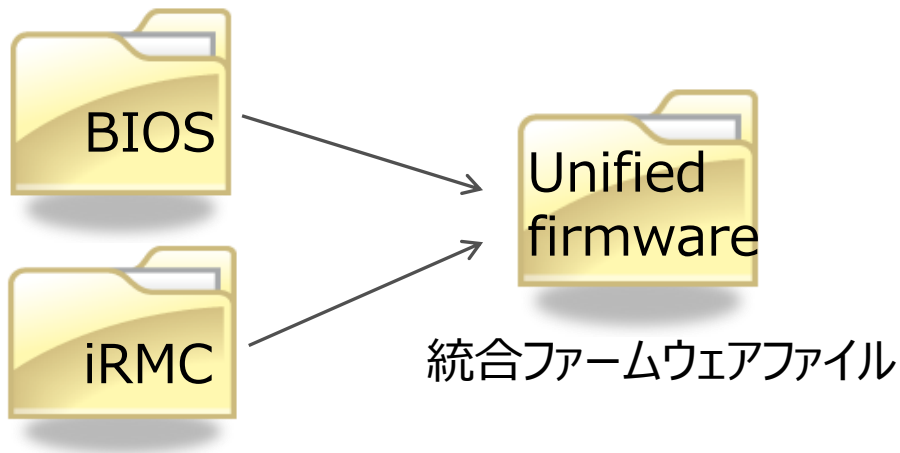
統合ファームウェアファイルは以下の2つのファームウェアが同梱されています。

- iRMCファームウェア
- BIOS

ファイル名:

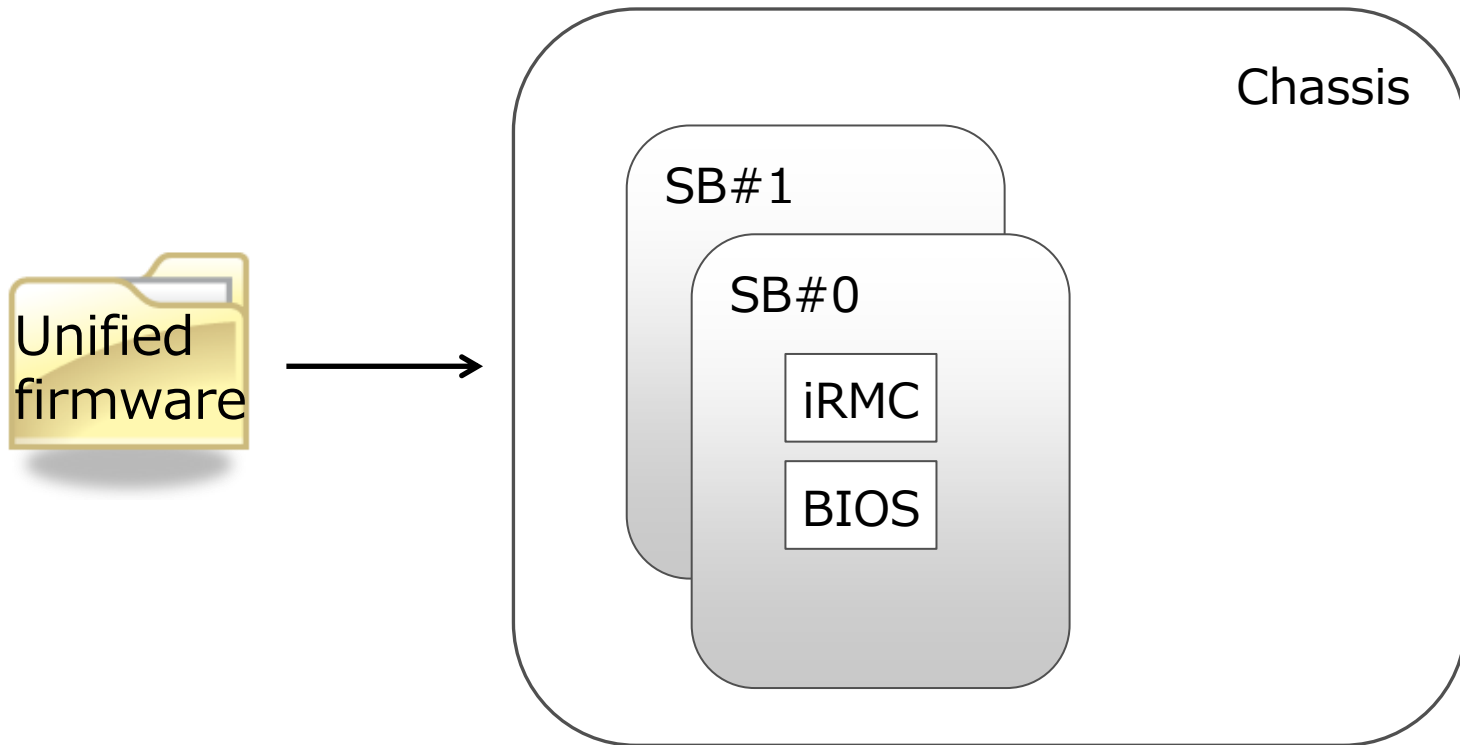
PRIMEQUEST4000\_FA`nnnnn`.tar.gz

`nnnnn`: 統合ファームウェア版数



## 1-2. ファームウェア更新

統合ファームウェアのアップデートが実行されると、  
筐体に搭載されている全てのiRMCファームウェアおよびBIOSが更新されます。



## 1-3. パーティション状態

[注意事項]

ファームウェア更新が実行されている間は、該当パーティションの電源Offまたは電源Onを実施しないでください。

## 1-4. 新ファームウェア版数に切り替わるタイミング

新ファームウェア版数に切り替わるタイミングは以下に示す通りです。  
ファーム更新開始時のシステム構成およびパーティション状態によって、新ファームウェア版数に切り替わるタイミングが異なります。

- **ファームウェア更新開始時のパーティション状態が、全パーティション：Power Offの場合（オフラインアップデート）**

iRMC、BIOS

ファーム更新完了時

- **ファームウェア更新開始時のパーティション状態が、1つ以上のパーティション：BootまたはOS Runningの場合（オンラインアップデート）**

iRMC、BIOS

全パーティションが“Power Off”状態に遷移した後、  
（自動で開始される）ファーム更新が完了した後

(\*）ファームアップ所要時間は1-5参照。

(\*）現在は各パーティションが“Power Off”状態に遷移した時、意図せずPowerOffしたパーティションへファーム更新を開始するため、手動で全パーティションのPowerOffが必要です。  
詳細は制限留意事項を参照ください。

## 1-5. ファームウェア更新時間

以下の構成におけるファームウェア更新時間を示します。

[SB x2台の場合]

BIOS : 10

iRMC : 20

合計 : 30

※ 時間単位 : 分

いずれも目安時間であり、記載された時間でファームウェア更新が完了することを示すものではありません。

## 2. 事前準備 (1/2)

- Web-UI を操作してファームウェアアップデートの一連の作業を実行するため、作業期間中、管理LAN に接続した作業用パソコンを一台割りつけてください。
- iRMC Web-UI の Power Restore Policy が「Always power on」でないことを確認してください。「Always power on」になっている場合は「Always power off」に変更してください。
- スケジュール運転機構を使用している場合、ファームウェアアップデートを行なう時間帯と、対象装置のスケジュール運転機構による電源操作スケジュールが重なっていないことを確認してください。スケジュールが重なっている場合、スケジュール運転を事前にオフにしてください。
- UEFIメニューのIntel TXT Supportが「Enabled」でないことを確認してください。「Enabled」になっている場合は「Disabled」に変更してください。



## 2. 事前準備 (2/2)

- SBの正常確認について  
装置に搭載されている各SBが正常であることを確認してください。

# 3. ファームウェアアップデート手順

## ■ ご案内

具体的なファームアップ手順はハードウェアマニュアル「iRMC S6 コンフィグレーションとメンテナンス」の「7.ファームアップデート」をご参照ください。

# 4. 事後作業

- スケジュール運転や「Always power on」を解除していた場合は、再度有効にしてください。
- Intel TXT Supportを事前作業で「Disabled」に変更していた場合、「Enabled」に設定してください。

**Thank you**

